

\$ORACLE_BASE と \$ORACLE_HOME ディレクトリ

\$ORACLE_BASE ディレクトリ

には、データやログや構成ファイル（Oracle 本体の構成用アプリケーション）が格納される

Windows 版では、**% ORACLE_BASE %**ディレクトリ

※ データベースのデータ本体は、別に指定をして異なるディスク位置に配置することが奨められる

\$ORACLE_HOME ディレクトリ

には、アプリケーション（構成用以外の部分）やコンポーネントがインストールされる

Windows 版では、**% ORACLE_HOME %**ディレクトリ

\$ORACLE_BASE と \$ORACLE_HOME ディレクトリの配置位置

ASM（自動ストレージ管理）が管理している論理ストレージには、これらのディレクトリは、配置できない

CRS が管理する CSF フォーマットの共有ディスクに、これらのディレクトリは、配置しない（配置するメリットがない）

コントロール・ファイル等のディスクとは別のディスクを指定することが可能である

表領域用物理ファイル、コントロール・ファイル等のディスク配置

Oracle の個別インスタンスが使う表領域用物理ファイル、コントロール・ファイル、初期化パラメーター、Redo ログは、\$ORACLE_BASE と \$ORACLE_HOME ディレクトリと全くことなったディレクトリに配置することができる

なお、これらのファイルを **ASM**（自動ストレージ管理）が管理している論理ストレージに配置することも可能